

COPD(慢性閉塞性肺疾患)を

ご存じですか？

◆問合先 保健センター健康衛生課 ☎77-3965



インタビュー

香芝市医師会 会長
みちのクリニック

道野 博史 院長

医療に繋げるためにはまず、
COPDについて**知ってもらうことが必要です。**

COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気をご存知でしょうか。

COPDとは、気流の制限を伴う進行性の肺疾患です。

原因の9割以上は**タバコの煙**にあるとされています。「ずっと咳がつづく」、「階段をのぼるだけで息切れする」、「毎朝たんがからむ」などの症状はCOPDの初期症状の可能性があります。

そういった症状がでたときはまず、かかりつけ医に相談しましょう。病気の性質上、完治は難しいですが、投薬治療や呼吸器のリハビリを行うなど、進行を緩やかにすることは可能です。

もし、ご家族にこうした症状をお持ちのかたがいらっしゃれば、ぜひ、病院の受診を勧めてください。早期発見、早期治療が重要です。

香芝市のCOPDの認知度は、49.9%＊。全国の平均値よりは高い数値ですが、まだまだ低いと思っています。

香芝市は2つの総合病院をはじめとして、医療機関が充実しています。病気を知ってもらい、かかりつけ医への相談につなげるためには、まずは認知度を上げていく必要があります、医師会と行政がひとつになって啓発活動を進めていく必要があると考えています。

＊第三次健康かしば21計画（香芝市健康づくりアンケート調査より）

講演の お知らせ

健康かしば21講演会 ～「知っておきたい肺の病気 COPD」～

- ◆日時 10月18日（土）14:00～15:30
- ◆場所 総合福祉センター2階 多目的室
- ◆講師 香芝市医師会会長 みちのクリニック 道野 博史院長
- ◆申込 窓口または電話、FAXにて申込
☎77-3965 ☎77-0939